

新評論

2015

2

No.254

発行所 © 新評論 2015年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

北海道の屋根「大雪山」と人々とのかわりの物語。忘れられた逸話、知られざる面を拾い上げながら、「写真の町」東川町の歴史と今を紹介。

大雪山

カムイミタラ

神々が遊ぶ庭を読む(仮)

清水敏一・西原義弘 著

◆ジャンル:北海道紀行/大雪山の歴史

北海道の屋根「大雪山」、その最高峰「旭岳」は北海道上川管内東川町の山である。「ふるさとの山」として誇りをもって眺めるとき、様々な人とのかわりを通して見えてくる大切なもの



姿見の池から、大雪山連峰の最高峰・旭岳を望む。

がある。

登山道が整備されていなかった大正時代、困難な状況にもかかわらず旭岳に何度も登っていた女性がいた。古い新聞に「何者ぞ?」と載った記事を手掛かりに調べていくと、「霊峰登山」という言葉が浮かんできた。その霊峰のふもとにある天人峡には、ハゴロモホトトギスという、

一度聞いたら忘れられない名前の植物が自生している。この命名のいきさつと、採集された標本の行く末にもドラマが秘められていた。

動物文学の第一人者、戸川幸夫が毎日新聞の夕刊に連載した「山のキバ王」は、広大な大雪山と東川町を舞台に繰り広げられた牧場の娘と犬の物語だが、地元ではあまり知られていない。なぜなのだろう、どうやら伏線がありそうだ。また、旭岳で事業として硫黄が採掘されていたことや、枯れ木でSOSを山中に残した遭難事故なども、今は知らない世代のほうが多くなっている。

大雪山の忘れられたエピソード、知られざる一面を拾いあげながら書き進めたのが本書である。日本で一番早く紅葉がはじまる大雪山と人との物語を通して、写真文化首都「写真の町」東川町のことを全国の人たちに伝えたい。

(こしはら・よしひろ)

ISBN978-4-7948-0996-4 2月刊

四六上製 三六〇頁(予) 予二八〇〇円

著者 清水敏一 1933年京都生まれ。64年岩見沢に転住、「大雪山房」主宰。編著書に「大雪山文獻書誌(全4巻)」「大雪山の父・小泉秀雄」「大町桂月の大雪山」など。西原義弘 1943年釧路生まれ。69年、結婚により東川町に転住。北海タイムス社勤務を経て、2012年より東川町史編集専門員。



移り住んだのはブラハ郊外の小さな村。彼方まで広がる草原を、毎日のように散歩した。

とかく生きにくいニッポンを離れ、「外国人」として気楽に生きる、新たな移民の時代へ。海外生活10年の経験者による日本脱出記。

棄国ノススメ

増田幸弘

◆ジャンル:移住エッセイ/移住の思想と実践

日本に住むことに、居心地の悪さを感
じた。なにかに押さえつけられ、足払い
を食らっているようだった。なにが起き
ているのか、どうしてそんなふうと感じ
るのかはよくわからなかった。二〇〇〇
年前後のことである。「失われた一〇年」
とか、「閉塞感」とかといった曖昧な言葉
が、巷にはあふれていた。

とりあえずほくは日本から逃げ出すこ
とにした。家族を連れ、海外に移り住ん
だのである。世の中がなにひとつ解決で
きないのだから、そうするしか思いつか
なかった。仕事のこと、家族のこと、
子どもの教育のことも、のしかかる問題
をすべてチャラにしてみたいかった。
経験者の友人たちは「とにかく『日本人
ムラ』にだけは気をつけろ」という警告
を添えて、ほくら家族を見送った。

移住先を選んだのは、チェコのブラハ。
二度、訪れたことがあるという、ただそ
れだけの理由だった。別にあてなどなに
もなかった。資産があるわけでもない。
言葉ができるわけでもない。外国に住む
といっても、旅行しているにすぎないと

いう気軽さと、亡命してきたなどとい
う重たい気持ちが同居した。それがすべて
のはじまりだった。

それからというものの、よたよたと生き
ながらも、本当にいろいろなことがあつ
た。よいこともあれば、悪いこともあつ
た。そのたびに、なにか根源的なものが
突きつけられた。生きるとはなにか。家
族とはなにか。社会とはなにか。国とは
なにか。答えのない問いが浮かんでは消
えた。それは日本に住んでいる限り、こ
れまで考えなくてもすむものだった。

本書でほくは外国で暮らすことで経験
したことを時間軸に沿って追いつながら、
世界に対する考え方や感じ方が少しずつ
変わっていく様子をとらえようとした。
ほくはもちろん、家族（妻と二人の子ど
も）も変化し、進化していく。その果て
にいったいなにかあるのか。国を棄て、
日本人をやめることで、いつしかほくは
楽に生きられるようになっていた。

（ますだ・ゆきひろ）

ISBN978-4-7948-0997-1 2月下旬刊

四六並製 二三四頁(予) 予二二〇〇円

著者 1963年生まれ。フリーの編集者/記者。現在はスロヴァキアに住み、日本とヨーロッパ
を行き来して取材をおこなっている。主な著作に『ブラハのシュタイナー学校』（白水社）、『ザ
ルツブルクとチロル アルプスの山と街を歩く』（ダイヤモンド社）などがある。



NPOが運営する精神障害者の福祉事業所「コーヒータム」。震災後、福島県浪江町から二本松市に移転・再開した。

NPOや社会企業家による産業・雇用・生活の復興と新事業創出への支援活動に着目。「社会」を意識したその取り組みの意義を抽出。

震災復興と 地域産業 6

復興を支えるNPO、社会企業家

関 満博 編

◆ジャンル: 地域産業 / 震災復興

東日本大震災は大津波と放射能災害という未曾有の事態を引き起こし、人びとの生活基盤、地域の産業基盤を崩壊させた。この点、地域産業や中小企業の復旧に対して、設備投資金額の四分の三を補助する「グループ補助金」の役割は大きかった。これにより、約一万の企業が事業用設備を回復させている。また、事業用仮設施設の無償提供により、三〇〇〇を超える事業所が仮の操業環境を回復させた。

一九九五年の阪神・淡路大震災の際には、多くのボランティアが被災地を訪れ、被災者の生活支援に大きな役割を演じ、日本の「ボランティア元年」といわれるほどの高まりをみせた。今回の東日本の場合は、被災者の生活支援に加え、多方面にわたる復興支援が行われている。被災直後の漁船の提供、事業用仮設テントの提供、カキやサケのオーナー制、復興ファンドの提供などがみられた。さらに、NPO、社会企業家、民間企業のCSR(企業の社会的責任)部門等が、継続的な支援を意識した興味深い活動を重ねている。被災地の多くは従前から条件不利地域であり、人口減少・高齢化が著しく進ん

でいた。今回の被災により、さらに人口を大きく減少させている。帰還を願っている年配者たちは、「若者のいないまちは、終わりだ」とつぶやいている。地域産業の復旧・復興、雇用の場の提供、さらに進んで希望に満ちた新たな産業の創設が、不可避なものになっている。

本書ではそのような点を意識し、被災の各地で取り組まれているNPOや社会企業家による産業復興支援、新たな事業創出支援等の取り組みに注目していく。被災各地では必死の取り組みが重ねられている。NPOや社会企業家たちはその現場に寄り添い、復旧・復興、その先の新たな事業創造を支えるべく活動している。過去の世界に前例のない、急激な人口減少・高齢社会に向かいつつある私たちにとって、被災地の復興と新生はいまや新たな「希望」となっているのである。

(せき・みつひろ)

ISBN978-4-7948-0994-0 2月刊

四六並製 二六四頁 予二五〇〇円

本の震災復興と地域産業(編著)

関満博 (1)1000円 (2)945000円 (3)28000円

好評刊
関満博
東日本大震災と地域産業復興

①二八〇〇円 ②三〇〇〇円

編者 1948年生まれ。明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授。博士(経済学)。東日本各地の震災復興・産業再生にアドバイザーとして携わる。代表作「東日本大震災と地域産業復興1~IV」「鹿児島地域産業の未来」のほか、本シリーズ「震災復興と地域産業1~5」など編著書多数。

バルザック、ゴーチエ、サンドなど、芸術家たちが表現を競い合った時代の作品中に登場する「絵画の比喩」をジェンダーの視点で分析



女性のみを対象とする面塾の様子を描いたA・グランビエール=ドゥヴェルジの《アベル・ド・ビュジョルのアトリエ》(1822)。19世紀当時、女性の画業は趣味を超えるものではないとみなされていた。

ロマン主義文学と 絵画

19世紀フランス「文学的画家」たちの挑戦

村田京子

◆ジャンル：フランス文学

フランス文学と芸術の関わりは深く、画家や音楽家、彫刻家を主人公とする「芸術家小説」をはじめとして、美術や音楽に関連する作品が数多く見出せる。本書はそうした作品を題材に、絵画がフランス・ロマン主義文学の中でどのように扱われているのかを、ジェンダーの視点を加味しつつ探るものである。例えば「近代小説の祖」と呼ばれるバルザックは、作品中で女性を描写する際に、しばしばラファエロの聖母像などの絵画を引き合いに出している。

人物描写において絵画の比喩が用いられるようになったのは、バルザックの生きた時代、すなわち一九世紀前半からのことである。その背景として、①大革命後にルーヴル美術館が一般開放されたこと、②複製画やリトグラフ(石版画)が普及したこと、③経済的に余裕のできたブチ・ブルジョワが、文化的教養を求めてサロン(展覧会)に通うようになったこと、などが挙げられる。この時代、大衆にとって絵画がより身近な存在となり、その結果、登場人物のイメージを喚起させるために小説内で絵画を比喩として使うことが可能になったわけである。

文学作品で絵画が言及される場合、それがどのようなメタファーとして使われ

ているのかを注意深く見定める必要がある。とりわけ人物像には、「男らしさ」「女らしさ」に関する当時の社会的通念が無意識のうちに投影されている。本書ではこうしたジェンダーの観点から、バルザックやテオフィール・ゴーチエ、マルスリーヌ・テポルド・ヴァルモール、ジュール・サンドらロマン主義作家の作品を取り上げ、絵画受容の相違点(とりわけ男性作家と女性作家の視点の違い)を浮き彫りにする。

バルザックは自らを「文学的画家」と呼び、絵筆の代わりに言葉を使って画家と競おうとしていた。そこには、芸術家たちが分野を超えて連帯し、互いに影響を与え合った時代の空気がみとれる。本書では、そうしたロマン主義の文学作品と絵画との相関性を探ることで、文学作品の読解に新たな視角を加えることができたいと思う。(むらた・きょうこ)

ISBN978-4-7948-0936-8
A5並製 予二二四頁 予二八〇〇円
2月下旬刊

好評刊
村田京子の本
《19世紀フランス・女性職業作家の誕生》
《ロマン主義的クルチザンヌの系譜》
3500円

《19世紀フランス・女性職業作家の誕生》
3000円

《19世紀フランス・女性職業作家の誕生》
3000円

著者 大阪府立大学地域連携研究機構女性学研究センター教授。文学博士(パリ第7大学)。主著『女がペンを執る時—19世紀フランス・女性職業作家の誕生』(2011年)、『娼婦の肖像—ロマン主義的クルチザンヌの系譜』(2006年)など。

国家間の関係だけを問題にしてきた従来の国際学、正解だけを求める学校型の教育…。若い読者と共に、もう一つの「学び」の世界を創りだす。

私たちの国際学の「学び」

大切なのは「正しい答え」ではない

奥田孝晴・椎野信雄 編

◆ジャンル:国際学

ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動するグローバルゼーションの時代において、このような時代だからこそ、若い読者の方々と共に、あらためて「国際学」とは何か、「学び」とは何か、さら

には「国際社会」とはどのようなものかを、人と人、人とモノとの関係性を軸に、問い直してみる本を編むことにしました。今日よく語られている華やかなイメージの、未来志向の国際社会だけでなく、暴力や不正のはびこる国際社会についてももしっかりとしたイメージを持ち、主権国家・国民国家を構成単位とするこれまでの国際社会のあり方までも問う柔軟な思考感覚を身につけることが、今まさに、この日本においては、大切なことだと判断したからです。本書では、国家と国家の関係だけを問題としてきた従来の国際学という学問を問い直します。

本書の第一の目的は、こうした「問い直し」を通して「学び」の意味を発見していくことにあります。この「学び」の意味は、いわゆる学校型の勉強（教科に分断された、正解のある問題の学習）の反復ではなく、自分の人生観や世界観と関わる「生きた問い」とも「命のある問い」とも言える問いのあり方について、

（一つの正解を求めるのではなく）考え続ける姿勢を養うところにこそ見出される

ものなのです。それは、一人ひとりが独自に身につける学びであると同時に、自分一人のためだけでなく、他者に開かれた学びであり、他者との交流を通して達成される学びです。また、世界の人々と共に生きるための学びであり、ありふれた普段の暮らしとも決して切り離してはならない学びです。さらには、地球の未来の人々と共に生きる学びであり、地球の未来が存立するための実践知としての学びです。

「学び」のプロセスを、つまり「正解」「不正解」が問題ではなく、その解を導き出す以前に、何かを学ぼうとする際の、あるいは何かを考えようとする際の思考のプロセスそのものを、既に当たり前のこととして大前提に置いてしまっている思考法とは異なる視線で、若い読者のみならずと共に関心考へる本を目指しました。高校・大学の教員の方々にも、是非、手に取って頂ければ幸いです。

（しいの・ぶお） 社会学

ISBN978-4-7948-0999-5 2月刊

四六並製 予二六〇頁 予一八〇〇円

執筆者（共に文教大学国際学部教員、太字は編者） 井上由佳 奥田孝晴 海津ゆりえ 小島克己 椎野信雄 塩澤泰子 鈴木正明 高井典子 林薫 黛陽子 本浜秀彦 山田修嗣 山脇千賀子 渡邊暁子

学生に賃金を

栗原 康

常軌を逸した高学費、奨学金という名の借金、バイトと就活漬けの日々。学生生活を破壊した要因を明快に説き、「万人のための自由で無償の大学」像を描く。

ISBN978-4-7948-0985-7 近刊

四六上製 一四八頁 予二〇〇〇円

著者 一九七九年埼玉県生まれ。東北芸術工科大学非常勤講師。専攻はアナキズム研究。『大杉栄伝―夜光社』(二〇一三年)で第五回『いける本』大賞を受賞。

アドラシオン

J・L・ナンシー／メランベルジェ真訳記

〔キリスト教的西洋の脱構築〕単一の答えを求める近代的思考を凌駕し、「人間世界」を取り戻す為。

四六上製 二五〇頁 二七〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-0981-0



「健康」語りと日本社会

高尾将幸

〔リスクと責任のポリテイクス〕

「健康」の政策化が私たちの暮らしと制度に及ぼす影響。

四六並製 三三〇頁 三二〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-0983-4



フィンランド人が語るリアルライフ

ツルネン・マルティ

〔光もあれば影もある〕前参議院議員が母国の友人たちに取材。日本人への豊かなメッセージ。

四六並製 三四八頁 二八〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-0988-9



フラナリー・オコナーとの和やかな日々

田中浩司訳

〔オーラル・ヒストリー〕神と人間の問題を描いた短篇の名手、天折の作家の内奥に迫る。

四六上製 三〇〇頁 三四〇〇円

『毎日新聞』書評

ISBN978-4-7948-0984-1



密詩集 絹の都

クリス・モズデル詩／キン・シオタ訳

視点を変えたとまったく違った京都が見えてくる。キン・シオタ二描き下ろし版画収録。初翻訳作品！

A5並製 一九二頁 一八〇〇円

『オズマガジン』紹介

ISBN978-4-7948-0986-5



ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック

ラテン・アメリカ政経学会編

経済・政治・社会の主要テーマを網羅。学生・研究者・ビジネス

マン必携！最新・最良の手引書！

A5並製 二五六頁 二七〇〇円

『Latina』紹介

ISBN978-4-7948-0985-8



戦争を指導した七人の男たち

マルク・フェロー／小野 潮訳

〔並行する歴史〕「われわれの時代の問題によりよく対処するため」。アナル学派の重鎮が日常生活の研究の経験を生かして従来の分析を一新、新たな大戦像を提示。

ISBN978-4-7948-0971-1 近刊

四六上製 予五二〇頁 予五〇〇〇円

著者 Marc Ferro 一九〇四年生まれ。ロシア史、映画史を中心とし、広い題材を扱う著述家も多く、その著書『アナルの共同主宰者』社会科学高等研究院の研究指導者。

本を売る

ブログの話

熊本市にある長崎書店の児玉と申します。入社5年目です。つい先日、長崎書店のルーツ店、長崎次郎書店をリニューアルオープンし、現在この2店舗に勤務しております。一から店を立ち上げるという経験は、新しい気持ち、新しい考え、新しい課題を与えてくれました。

長崎書店が続けてきたことのひとつにブログがあります。棚担当者が持ち回りで毎日更新することが目標ですが、うまくいかないこともしばしばあります。リニューアルオープンに伴い、長崎次郎書店のページも開設したことから、最近ブログについて真面目に考えるようになりました。ある一冊だけを切り取って紹介するからには仕入れた者としての態度が伝わるものでなければ、ひいては、実際にお店に来ていただけるきっかけにしなければ、と。他の業務が忙しいからと、どこか大雑把になっていたと反省している最中です。

現在では、たくさんのお店員がブログを書いたり、なんらかのメディア上で連載をしていたりしますが、そんな中で突出して優れていると感じている（私の目に触れている範囲内で、あくまでも「書店員」が書いているものに限ります。京都・恵文社一乗寺店の店長、堀部篤史さんが書かれている「何を読んでも何かを思い出す」です。個人での定期的な更新と内容の一貫性だけをとても凄いですが、取り上げる本の幅、ブログタイトルが示す通りのひろがりある文章、そしてその質、量、どれをとっても並み並みならぬものを感じずにはおれません。

恵文社一乗寺店がたくさんの人を惹きつけるのには、お店自体が素晴らしいことはもちろんですが、堀部さんのブログも大きく影響しているのではないかと思うのですが、じゃあ私も、と簡単に真似できることではないから辛いのですが、これからは自分なりに丁寧にやっけていきたいと思っています。

長崎書店 児玉真也

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(11・9~12・28)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 11・9 ◎東京新聞『哲学者 内山節の世界』（著者寄稿）
- 11・12 ◎長崎新聞『明治の国際人・石井筆子』（高比良由紀）
- 11月号 ◎mundi『南国港町おばちゃん信金』
- 11月 ◎松戸市立図書館新着図書案内『南国港町おばちゃん信金』
◎キラキラ読書クラブ 子どもの本720冊ガイド『ギヴァー 記憶を注ぐ者』
- 12・22 ◎福祉新聞『夢をかなえる障害者アスリート』
- 12・28 ◎毎日新聞『フラナリー・オコナーとの和やかな日々』（荒川洋治）

- 12月号 ◎月刊クーヨン『南国港町おばちゃん信金』
- 12/上 ◎出版ニュース『南国港町おばちゃん信金』
- 12/下 ◎出版ニュース『明治の国際人・石井筆子』
- 1月号 ◎本の花束『終わりになき戦争に抗う』
◎Latina『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』（岸和田仁）
◎オズマガジン『密詩集一編の都』

12月の増刷

現代中小企業の存立構造と動態

福島久一 3刷

6000円

本を読む

メキシコ民族の誇りと闘い

メキシコの歴史については、「コルテスによってアステカ文明を滅ぼされた土地」程度しか知りませんが、その事実からどのような歴史的経過をたどって現在のメキシコの国民アイデンティティが成立してきたかを、ナシヨナリズムを切り口として、具体的事件を通して描いてくれた好著でした。

(柏市) 会社員 加藤義明 64歳

ふつてもはれても

理想! 生きる力を遊びから育て、子どもが自立的に体験できるようにするために、園全体に施された仕掛け、すごい一言。管理されないと生きていけない受身の生き方はもうNO! 私が望むことと合致した。嬉しい。この園から巣立った子どもは前途有望、頼もしいことだ。園と保護者、一人一人の子どもを大切に守るこの車の両輪が、力強く思考しつつ、望ましい幼児教育環境を作っている!

(新貝市) 木曾田恵智子 68歳

「昔はよかった」と言うけれど

「昔はよかった」は、しばしば、夢や希望に満ち溢れていた昭和三〇年代の高度経済成長期を懐かしんで言われる言葉である。しかし、この本ではもっと古い時代の道德的暗部を「昔」として示している。物事のステレオタイプ的な見方は見直す必要があると思った。近代的な社会秩序が根付くまでは長い年月を要したこともわかる。

(長久手市) 加納俊彦 66歳

好評刊

メキシコ 民族の誇りと闘い

(多民族共存社会のナシヨナリズム形成史)
山崎真次 三〇〇〇円

フォトジャーナリストが見た世界
(川を這うのが仕事) 三〇〇〇円

ふつてもはれても
(川和保育園の日々とトニーのつばき) 二〇〇〇円

「昔はよかった」と言うけれど
(戦前のマナー・主丸から考える) 二〇〇〇円

哲学者 内山節の世界
(かがり火編集委員会編) 二〇〇〇円

大倉幸宏

「かがり火編集委員会編」

編集部から

無能な政権は、すでに実証的に覆されたトリクルダウン仮説にしがみつき、「被災地にもアベノミクスの果実が行き渡る」と言い張っている。当然ながら現実はいきなり張っていない。シリーズ「震災復興と地域産業」は、震災以来、被災地の地域産業・中小企業が困難に直面し続けていいること、人びとが不屈の力でそれに立ち向かっていることを証している。2月本刊の完結編⑥では、NPOや社会企業家による復興支援活動の社会性に着目。既刊①沿岸漁業部門の復旧状況、②岩手県釜石市の再生への挑戦、③道の駅の防災拠点としての役割と課題、④仮設商店街の取り組み、⑤津波ですべてを失った宮城県南三陸町の復興」と併せ、被災地の方々と共に歩むための必須備忘録である。

営業部から

▼新年明けましておめでとうございます。書店・生協の皆さま、読者の皆さま、本年も昨年と変わらぬご愛顧のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。 社員一同

▼1月31日(土)14時、「フォトジャーナリストが見た世界」著者の川野嘉文さんが、イスタラム国:フォトジャーナリストが「見たクルド難民」と題し、バルコブックセンター吉祥寺店・特設会場にてトークイベントを開催致します。定員20名(申し込み先着順)。詳細は、開催店舖HP(ご予約*0422-211812)または、弊社HPをご覧ください。▼トールハン帳合の書店様へ

2月未常備入替のお知らせ
今年度のセット常備の統一搬入日は、2月23日(月)を予定しております。選択常備につきましては、例年通り、ご回答いただき次第随時出荷させていただきます。 [常備係]

SBCS(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊P誌「新評論」を定期的に送料無料で送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくこと、全商品の中からご希望の本を一冊無料進呈する特典もございます。入会ご希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メルマガまたはハガキにて、お名前・郵便番号・ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBCS発行の「入会確認証」をお送りいたします。